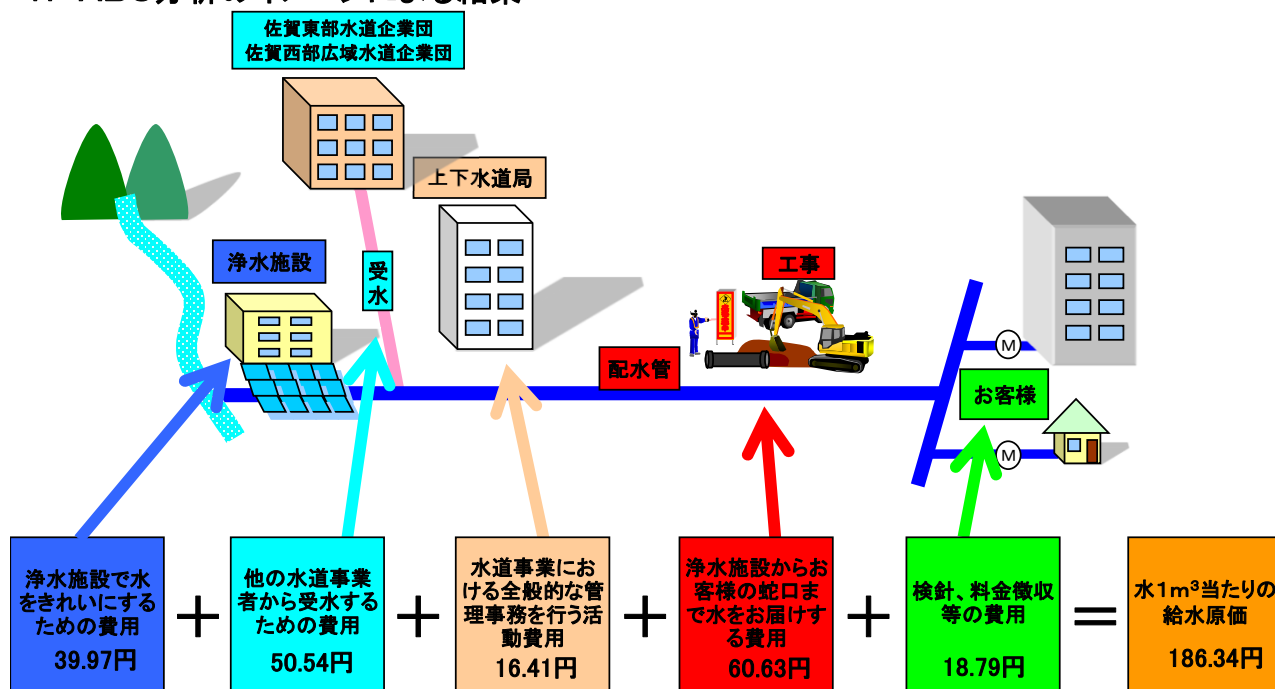


ABC分析結果(水道事業)

※令和7年度決算(令和7年4月1日から令和8年3月31日)数値より

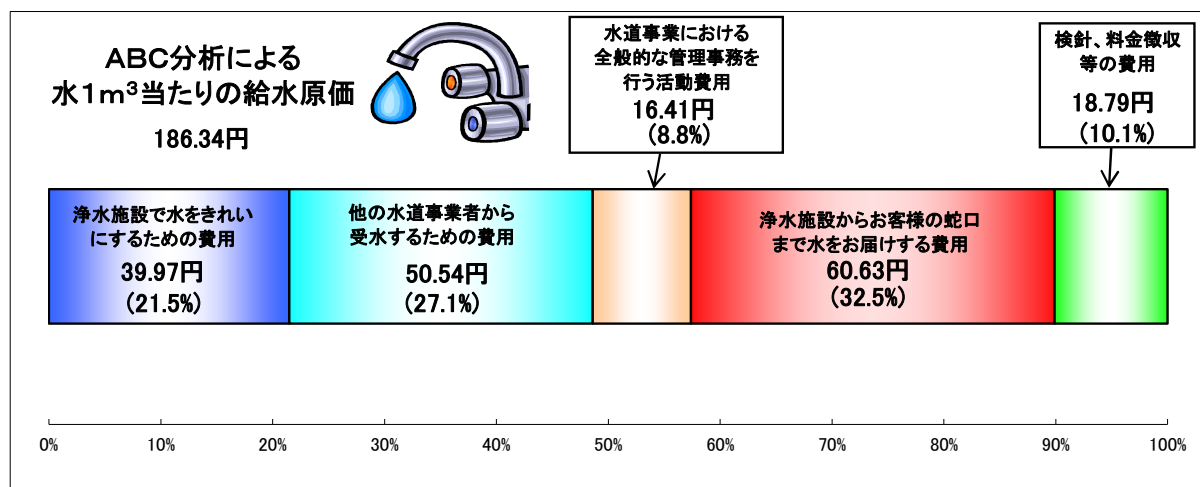
1. ABC分析のイメージによる結果



ABC分析給水原価(単位:円)

ABC分析給水原価(単位:円)		年間有収水量	19,913,013㎡
	給水原価(円)	税抜額(円)	割合
浄水施設で水をきれいにするための費用	39.97	795,987,630	21.5%
他の水道事業者から受水するための費用	50.54	1,006,464,226	27.1%
水道事業における全般的な管理事務を行う活動費用	16.41	326,804,245	8.8%
浄水施設からお客様の蛇口まで水をお届けする費用	60.63	1,207,239,891	32.5%
検針、料金徴収等の費用	18.79	374,100,992	10.1%
計	186.34	3,710,596,984	100.0%

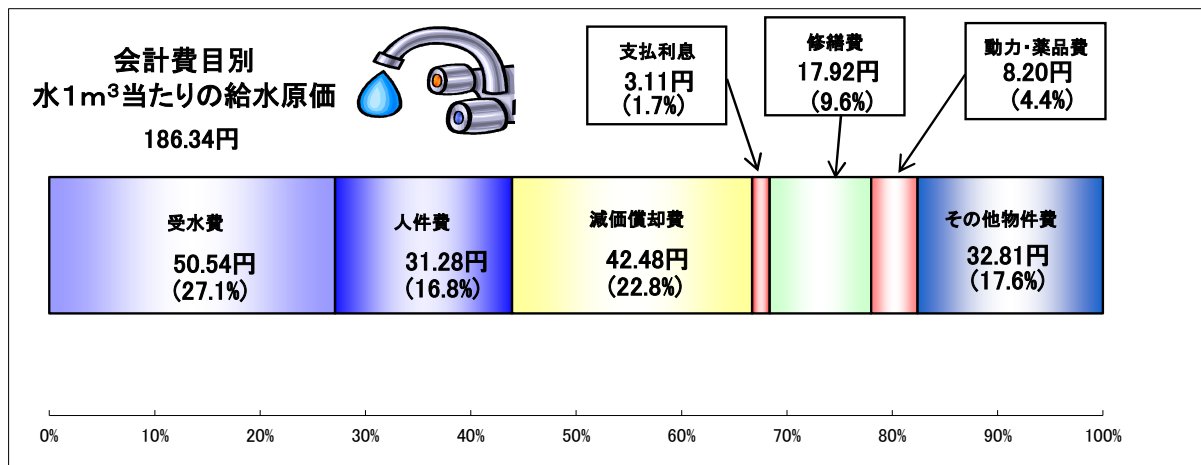
※令和7年度は、水道料金負担軽減緊急対策事業により、基本料金減免等を行っている。



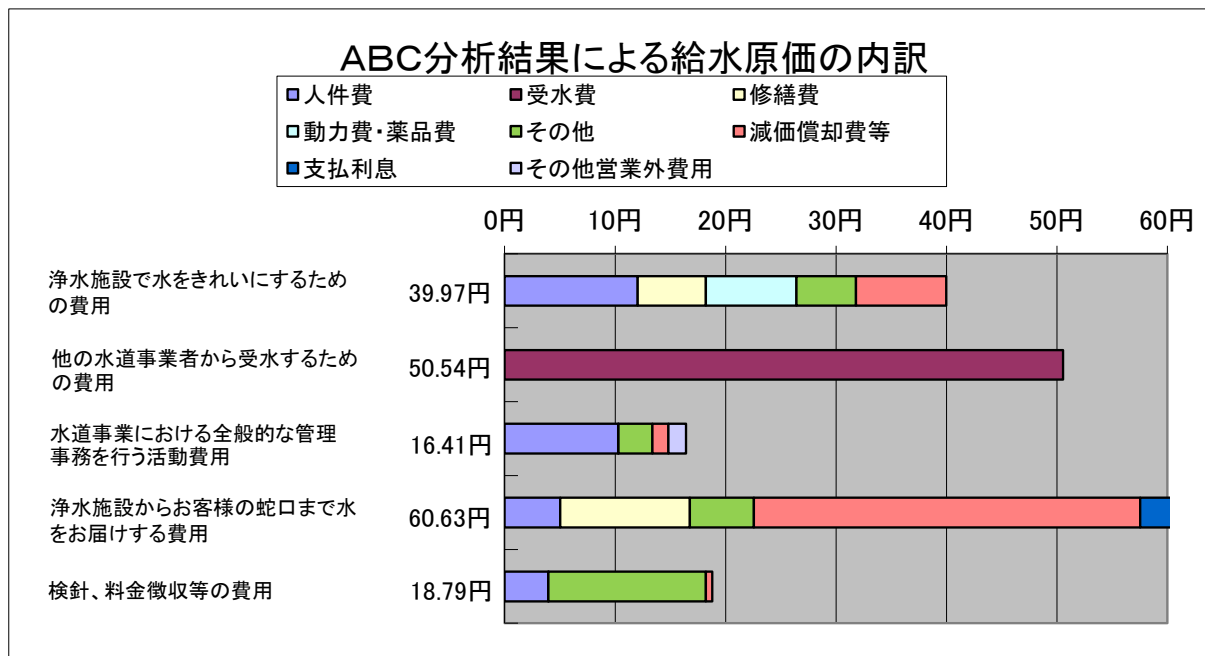
2. 参 考

会計費目別給水原価(単位:円)

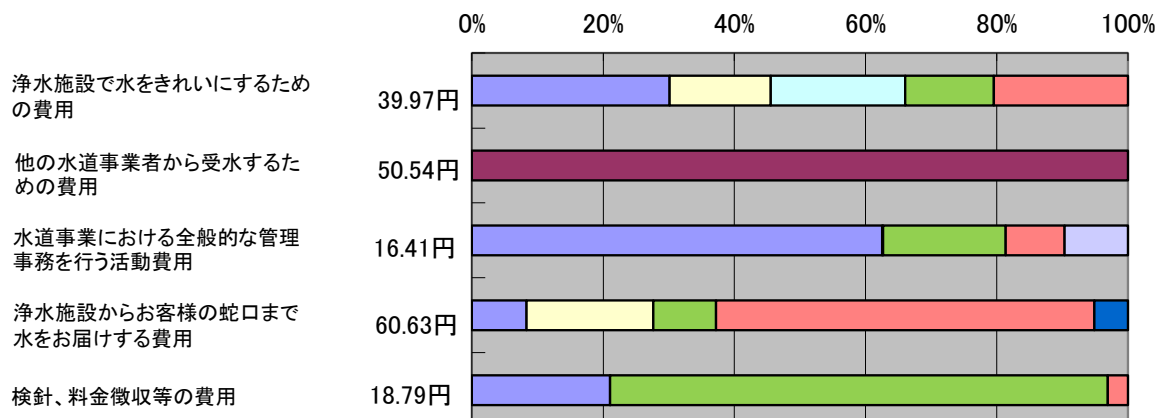
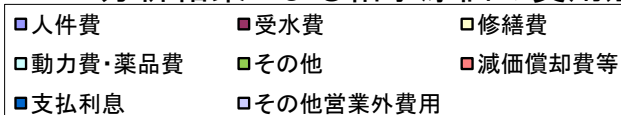
	給水原価(円)	税 抜 額 (円)	割合
受水費	50.54	1,006,464,226	27.1%
人件費	31.28	622,783,013	16.8%
減価償却費	42.48	845,902,542	22.8%
支払利息	3.11	61,847,902	1.7%
修繕費	17.92	356,790,811	9.6%
動力・薬品費	8.20	163,256,714	4.4%
その他物件費	32.81	653,551,776	17.6%
計	186.34	3,710,596,984	100.0%



3. ABC分析グラフ



ABC分析結果による給水原価の費用別割合



【分析結果】

給水原価は本年度186.34円で、活動別では、「浄水施設からお客様の蛇口まで水をお届けする費用」が給水原価の32.5%、「浄水施設で水をきれいにするための費用」が21.5%と、これらの費用で全体の約半分(54.0%)を占めています。また、「他の水道事業者から受水するための費用」が27.1%となっています。

給水原価を構成する会計費目では、受水費(27.1%)や減価償却費(22.8%)、人件費(16.8%)の順で割合が高くなっています。

水道事業は「装置産業」と言われ、資産のほとんどが配水・給水施設(お客様の蛇口まで水を届けるための施設)や浄水施設(水をきれいにするための施設)で占められています。そのため、施設に係る減価償却費や施設の維持管理のための人件費、修繕費などの割合が高くなります。

今後も、施設の老朽化に伴う改築・修繕経費や、耐震化などの災害対策経費の増加が見込まれますが、安全で安心な水道水の供給を途切れることなく続けていくため、令和7年3月に経営戦略を含め作成しました「上下水道ビジョン」に基づいた効率的な事業経営を進めていきます。